



刊夕 日十月八
日刊 毎日新聞
昭和十四年八月十一日
東京 二丁目
電話 二二二二
支店 大阪 二丁目
電話 二二二二
支店 神戶 二丁目
電話 二二二二
支店 京都 二丁目
電話 二二二二
支店 名古屋 二丁目
電話 二二二二
支店 仙台 二丁目
電話 二二二二
支店 青森 二丁目
電話 二二二二
支店 函館 二丁目
電話 二二二二
支店 旭川 二丁目
電話 二二二二
支店 釧路 二丁目
電話 二二二二
支店 帯広 二丁目
電話 二二二二
支店 旭川 二丁目
電話 二二二二
支店 釧路 二丁目
電話 二二二二
支店 帯広 二丁目
電話 二二二二

改良工事に乗出す 六號国道能力調査

最悪と必要の個所から着工 濱通り全線に亘って

濱通りを縦貫する国道第六號線の改良工事は部民多年の要望で就中平市を中心とする舗装施行の急を訴へられてゐるが内務省土木局でも漸く其の要に動いて沿線各町村の能力調査を平、富岡、原町三監督所により来る十五日迄に報告せしむべく各町村毎の人口並びに生産物資、工場会社の所在等に軍事關係について調査中であつて主務省ではそれを基に最悪の個所及び必要の個所に大々的の改良舗装をなす

多額議員の 選挙に申合せ

縣では多額議員選挙に關し十一月廿一日午後一時から縣議會に候補者並びに事務長を召集し戸別訪問を行はざることを其の他修正について申合せをなす

二期工事の施行が 小名港の死活問題

維持費難で持て余されそう 死者狂ひの地元の運動

石城各濱沿岸が去る五日の暴風雨で怒濤被害の甚くないところは既報の如く殊に小名濱商港の被害が甚だしく復舊費五六萬圓を要するものと見られ、同港は今春の暴風波にも被害を受け重々二期工事の維持に悩むを考慮され、修築當初に於ける専門技術家の設計を大正の末から昭和の初めに及ぶ經濟緊縮で技考を無視して極端に切詰めた姑息な一期工事と稱するものゝ完

新益の飾付を 節約して寄附

平市二丁目錦酒酒店主星野久八氏は今事變で名譽の戦死を遂げた長男嘉久治君の新益に地方の慣行である飾付を節約市の軍事後援會と助成會へ各

勇敢なり新作少年

三才の幼兒を濁流から救助

平市宇根町三一白石庄藏三男義藏(三)さんが昨九日午前十一時頃九才の兄と七才の姉共々平橋下の夏井川に於て水遊び中深瀬に落ち濁流のため押流されて溺死するばかりに兄弟がとうとう泣き止まらぬと云ふところを通り合せた市内舊城跡下鐵道官舎田口松五郎氏三男新作(四)君が素早く

満支の視察から

本縣郷土 關内正一氏

徐州より將校が同車された沿道戦跡の説明や守備の苦勞等を詳細説明して呉れた、得難い参考である。土民が長閑に畑を耕してゐる、水牛に牧童が乗つてゐる、戦争などなかつた様に平和である。火野氏の「麥と兵隊」は一体どの邊の事であらう。十二時一寸過ぎ淮河を渡る、直ぐソープ驛

支那軍

本屋は書舖でシニープ、石炭屋のものを煤、硝子と書いてメーチア、毛皮屋は皮貨行と稱してピーホーハン、菓子店のことを點心舖と書いてテイエンシン、ブーと云ふ様に呼ぶ、廿四及び自營會その他に寄附をなす

臨時出納検査立 會員の互選

昨九日平市参事會は區長の推薦に三丁目警察署長平氏の承諾を以て其の他を可決した向は臨時出納検査立會員の互選は左記に決まつた

▲吉田寅之輔 川崎文治
鈴木庫左右

戦地の便り

アカンヤも喘ぐ 雨ふらぬ雨季

以來現在まで華々しき勳きとてなせませんが大過なく、御陰謀に一度の就床も致さず奮々として元氣一杯今日に及んで居ります。此の度度友には護國の鬼の英靈として靖國の御社へ歸りし者または白衣の勇士として南船北馬し今や殘敵掃蕩に弾雨の中に刀を振りかざしてゐるも等々種々雑多であります、それに比し僕等は幸か不幸か今租界問題にて世界の注視の的となつてゐる現地の將兵として頑強つて居ります、皆様これ以上は御想像して下さい新聞の報導の通りです、吾々は語りたくも機密に觸れ易き故、以上にて御容赦下さい幸ひ先生には此の方面の造詣深く世界の情勢並びに時宜しくお傳へ下さいと願はれた、全く奇遇である。戦死者の御遺骨四柱が、車内に安置された、兵隊さんと日支國防婦人、捕虜からなる保安隊の一隊等の見送りがある。つい四、五日前三百余の敗残兵の襲撃を受けた僅か五人で防戦に努めたが遂に四名の戦死、一名重傷その尊い四柱であると云ふそして今懐かしの両親、最愛の妻子の待つてゐる故山に無言の凱旋を急ぐところである、哀愁何ぞ堪えん。午後五時半浦口着、驛の建

今朝植田火事

石城郡植田町本通り字上町榮泉堂菓子店事瀬谷龜之助方か

鹿島駐在所改築

石城郡鹿島村では巡警駐在所の改築に工費三千圓を豫算し材料を各字より寄附、青年團その他各種團體の協力奉仕で来る十月迄に落成の豫定

種牡牛の検査

石城郡下の種牡牛検査は昨九日かち左記日で行ふ

小名濱の健診

小名濱町では夏季の衛生に心を置き接客業者に對して来る十八日健康診断を行ふ

農事の懇談會

小名濱町に於ける銃後農産擴充の懇談會は十一月廿一日役場に開催、農會、實行組合主催部と計畫の打合せをなす

入遠野校の献金

石城郡入遠野小學校では毎週金曜日を献金日と定め職員生徒等に於て貯めた金十五圓五

甲種臨海便り

海は荒海 大波小波 寄せて返へして 返へして寄せて 岩に砕けて 大空高く バツと飛び散る 波しぶき しぶき浴びつゝ 巖に立ては 海國日本 少年男子 躍る血潮は 力となつて 足に腕に 心にみちる 八月八日(火)晴後曇

落着て重傷危篤

石城郡内郷村の高坂繁炭住吉坑採炭夫長澤善一郎(三)は去る八日午前三時頃同坑内で作業中落着て重傷生命危篤

保護馬検定施行

農林省馬政局の軍用保護馬検定は十一月廿一日植田商場地に於

保護馬検定施行

物に空爆のため屋根がない旅行證明書、荷物の嚴重な検査がある、對岸南京に渡る船に乗る、汚ないゲルマ船で支那人も日本人もごつちやで異臭、喧嘩にむせかちる程だ。揚子江の濁流は滔々として逆巻いてゐる、對岸は見えるが實に巾が廣い。上流下流を見渡せば海と擇ぶところが爲い、南京下關に上陸、防衛を嚴重に執行してゐる、皆兵隊さんである。

電報を打つておいた宿の者が出てゐないので、親切な

十錢を海軍植兵部へ献金す
落着て重傷危篤
石城郡内郷村の高坂繁炭住吉坑採炭夫長澤善一郎(三)は去る八日午前三時頃同坑内で作業中落着て重傷生命危篤

